

加藤厚生労働大臣に「報告書」を提出

～新型コロナ・ウイルスとタバコの強い関連性～

本日、午後1時から、厚生労働省の合同庁舎第3会議室で、「新型コロナ・ウイルスとタバコの関連性」について、加藤勝信大臣宛の「報告書」を、健康局結核感染症課の山田大悟係長に手渡して参りました。参加メンバーは、作田学理事長、宮崎恭一理事、来馬明規監事と渡辺の4人でした。山田係長からは、特にこの問題についてのコメントはありませんでした。



●山田大悟係長に「報告書」を手渡す作田理事長

その後、午後2時から厚生記者会（全国紙、東京、共同通信、時事通信、テレビ各社加盟）で、会見を行いました。

会見では、まず、作田理事長から新型コロナ・ウイルス（COVID-19）の重症化要因として「①男性／②高齢（60歳以上）／③喫煙（現在喫煙者並びに過去喫煙者）／④ぜんそく、COPD／⑤糖尿病」との説明があり、宮崎理事からサウジアラビアの報告で、喫煙者が死亡している例、来馬明規監事からはタバコとノロウイルスやインフルエンザとの強い関連性などについて説明がなされました。

参加社は、朝日、読売、東京、共同通信、日本テレビの5社でしたが、熱心な記者の方々に、いろいろ質問も出されました。



●会見を行う、作田理事長と宮崎氏、来馬氏と渡辺